

JDreamIII機能強化セミナー 2016 Summer



JDreamIII 科学技術文献データベース 引用情報の追加と海外誌拡充について

はじめに

1. 引用情報の追加

2. 海外誌（IEEE）の拡充

3. その他の変更点

- ・ 機関IDの追加
- ・ 書誌項目の表記変更について
- ・ 検索結果表示時のL番号表記について

4. ダウンロード形式（タブ区切り）の フォーマット変更について

はじめに -ビジネスFプランの利用約款変更について-



今回発表する機能強化で、これまで国内文献にはなかった引用・被引用の情報を追加し、また、海外誌（IEEE）の大幅な追加を行います。この機能強化に伴い、お客様には、今まで以上のヒット件数や、出力件数の増加が予想されます。また、今までと異なるニーズで、活用の幅を広げていただけるものと期待しています。

この機能強化を最大限にご活用いただくために、ビジネスFプランの利用約款変更を行います。

ビジネスFプランの「3倍超過で翌年のご契約金額10%増額」というルールについて、「3倍」を「5倍」に改定し、契約額の5倍まで翌年の契約額増を気にせず、ご利用いただくことができるようにいたします。

この改定は利用量の上限を緩和することでビジネスFの価値を高め、より多くの方に JDreamⅢを活用いただくことを目的としております。加えて昨年末の約款変更により、ビジネスFの検索結果を分析用にご利用いただくことが可能であり、これまでデータ料金を気にして分析をお試しいただけなかったお客様にも、分析の導入段階のトライアルをビジネスFの契約内で実施いただきたく考えております。

私達ジー・サーチは、今後、JDreamⅢのさらなる活用をご提案していきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

	プラン名	対象	利用 限度額	利用限度額を 超えた場合	翌年の契約金額
変更前	ビジネスF	契約金額が 36万円以上	契約金額の 5倍まで	追加料金 (3万円単位)	ご利用が契約金額（追加料金含む）の 3倍を超えた場合、当年契約金額の1.1倍
変更後					ご利用が契約金額（追加料金含む）の 5倍 を超えた場合、当年契約金額の1.1倍

1. 引用情報の追加

引用情報の追加について

1995年以降の国内原著論文（JSTPlus、JMEDPlus）に引用情報を搭載します。引用情報により、関連する文献の検索はもちろん、被引用文献を見ることで、その文献から発展した研究も容易にたどることが可能となります。

検索

引用関係から、検索結果の集合を広げることができるようになります

回答表示

引用情報、引用数、被引用情報、被引用数を表示できます

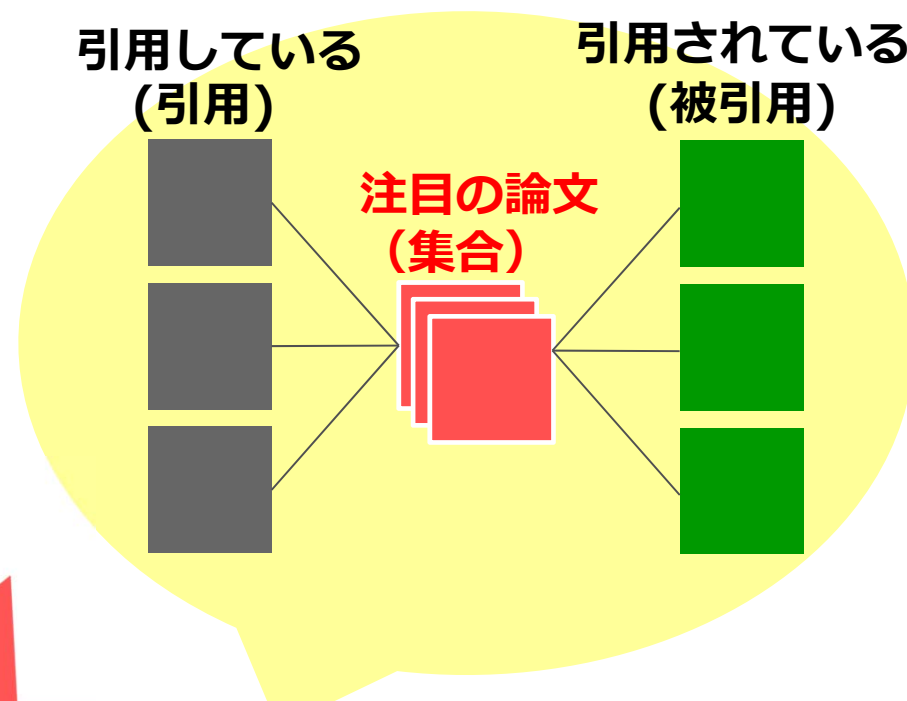
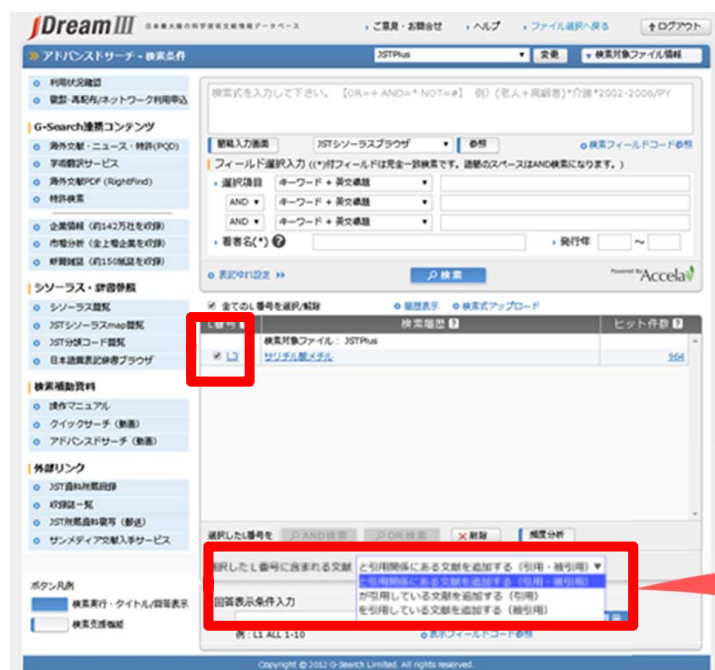
ダウンロード

引用・被引用を含む情報を、タブ区切り形式でダウンロードできます

※ユーザSDI、スタンダード（リクエスト）SDI、文献速報は対象外です

引用検索で類似研究を把握

「どんな論文を引用しているのか」「どんな論文に引用されたのか」を簡単操作で集合に追加。通常の検索では見落としていた類似研究の把握が容易になります。より確実に効率的な先行研究調査が可能です。



選択したL番号に含まれる文献

と引用関係にある文献を追加する (引用・被引用) ▼
と引用関係にある文献を追加する (引用・被引用)
が引用している文献を追加する (引用)
を引用している文献を追加する (被引用)

プルダウンで指定し、プルダウン右の検索ボタンを押下するだけで引用・被引用論文を追加できるようになります

- ## 後続研究（被引用論文）

ANSWER 1 OF 1 JSTPLUS JST COPYRIGHT		JDreamIII複写可能	
整理番号	12A0526664		
和文標題	干満環境および土中環境におけるひび割れを有するコンクリート中の鉄筋腐食進行評価		
著者名	松村卓郎, 松尾豊史, 宮川義範, 大塚拓 (電力中研)		
資料名	電力中央研究所地球工学研究所研究報告		
発行国	日本(JPN) 言語	日本語(JA)	
抄録	大きな地震作用を受け、鉄筋コンクリート製(以下,RC)地中構造物に、ひび割れ等の損傷を生じた、火力発電所や原子力発電所において、損傷後の経年劣化の進行を評価することは、重要である。電力中央研究所では、RC地中構造物の健全性評価の研究を行っているが、本研究の目的は、干満環境並びに土中環境における、地震によるひび割れを有する、コンクリート中の鉄筋腐食の進行を評価することだった。実構造物を模擬した試験体に、鉄筋降伏を伴うひび割れを生じさせ、干満模擬環境および土中模擬環境における鉄筋腐食実験を、約1年半行った。本文は、その実験結果から、1)コンクリート中の鉄筋腐食の進行を評価することだった。今後は、損傷部の補修効果とその持続性について記した。		
分類コード	RA05020W, WB03030B (624.01+, 669:62)		
シソーラス用語	発電所, 鉄筋コンクリート構造, 地中構造物, 亀裂, 温度, 地震荷重, 原子力発電所, 金属腐食, 塩化物イオン濃度, 火力発電所, 干満環境		
標準シソーラス用語	塩化物イオン濃度, 火力発電所, 干満環境		
引用	9件	1)土木学会:【2007年制定】コンクリート標準示方書 2)松村卓郎,宮川義範,玉田麗一郎,岩森政昭:干満環境における鉄筋腐食の進行を評価することだった。今後は、損傷部の補修効果とその持続性について記した。 3)松村卓郎,松尾豊史,宮川義範,玉田麗一郎:干満環境における鉄筋腐食の進行を評価することだった。今後は、損傷部の補修効果とその持続性について記した。	
被引用	3件	松井淳. ひび割れをエポキシ樹脂で補修したコンクリート構造物の鉄筋腐食の進行を評価することだった。今後は、損傷部の補修効果とその持続性について記した。 2012, No.N11045, Page.24P 松村卓郎. 鉄筋コンクリート製地中構造物の健全性評価に関するガイドラインの改訂を踏まえて. ATOMC 松尾豊史, 松村卓郎, 大塚拓. ひび割れ損傷を有する鉄筋コンクリートはり部材の塩害劣化と耐荷特性評価に関する検討. 電力中央研究所地球工学研究所研究報告. 2015, No.N15003, Page.27P	

ANSWER 1 OF 1 JSTPlus JST COPYRIGHT		JDreamIII描写可能
整理番号	12A0824020	
和文標題	ひび割れをエポキシ樹脂で補修したコンクリートの遮塩性能	
著者名	松井淳 (電力中研)	
資料名	電力中央研究所地球工学研究所研究報告	
JST資料番号	F0804D ISBN 4-86216-148-0	
巻号ページ (発行年月日)	No.N11045 Page.24P (2012.04)	写図表, 参18
資料種別	技術報告(T)	
記事区分	原書論文(a1)	
発行国	日本(JPN) 言語 日本語(JA)	
抄録	供用中、RC構造物では、多様な荷重の作用、温度応力、収縮等により、ひび割れが生じて、水、炭酸ガス、塩分などの侵入が容易となり、鋼材腐食が促進されやすく、部材の力学性能や耐久性能の低下をもたらす恐れがある。コンクリート構造物のひび割れに対する補修方法は、ひび割れを注入工法、および充てん工法に大別される。このうち、鋼材が腐食または損傷せず、ひび割れ幅が数mm未満の軽微な場合には、注入工法が採用される場合が多く、注入材としては、エポキシ樹脂が採用されることが多い。本研究の目的は、コンクリートの遮塩性能とひび割れ注入工法に関する問題によるひび割れ注入工法の補修効果を把握することと、その効果を、載荷試験後の大型RC試験体を対象として、評価することである。	
分類コード	691.3+691.5	

Copyright 2016 G-Search Limited

被引用数で研究の評価・分析が可能に

引用／被引用文献情報や引用数／被引用数は、ダウンロード（タブ区切り形式）可能です。特定の研究分野で注目される論文や研究者、研究機関をダウンロードすることができます。



<ダウンロードデータのイメージ>

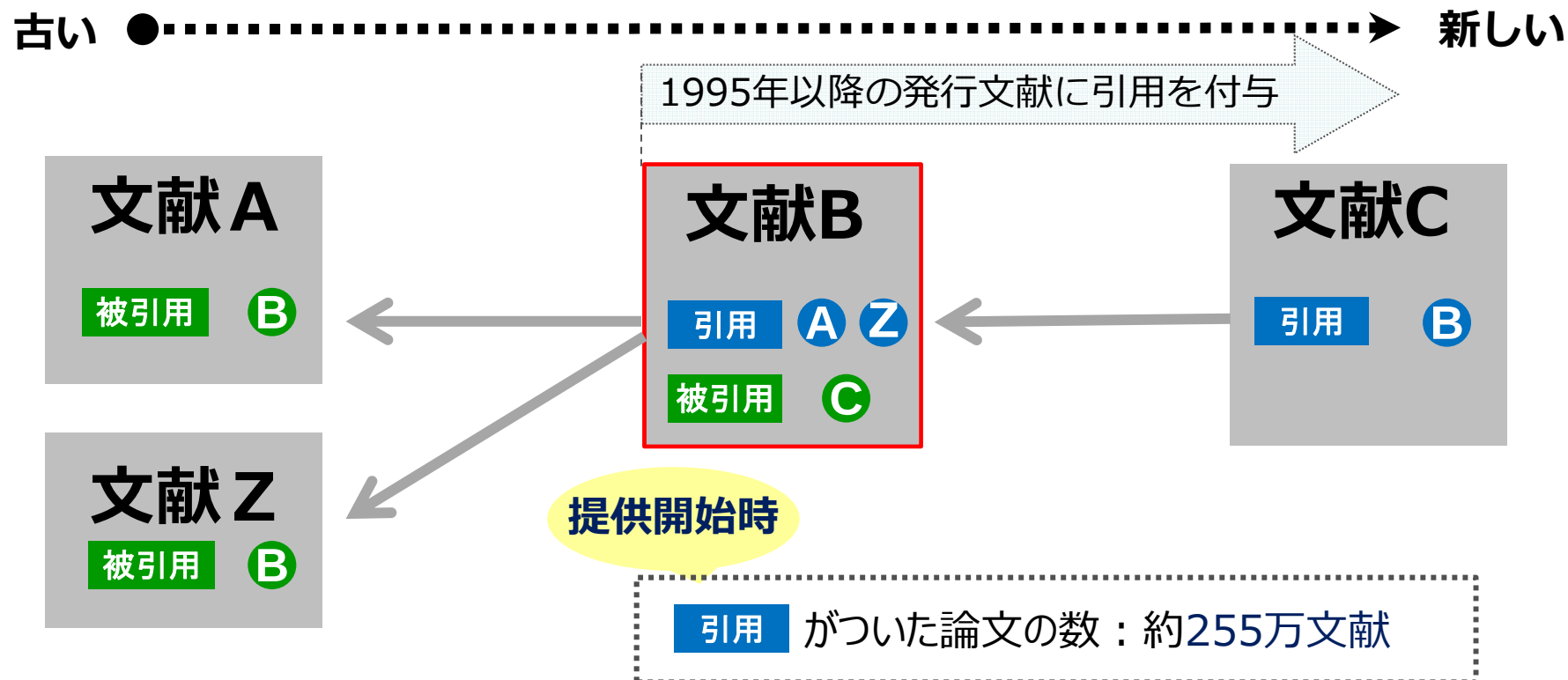
和文標題	発行年	引用数	引用テキスト (引用整理番号)	引用整理番号	被引用数	被引用テキスト (引用整理番号)	被引用整理番号
高密度地震観測による．．．．．	2009	5	岐阜県東濃地域の地震．．．	05A0811443 08A．．．	6	常時微動による地盤軟弱．．．	09A0458973．．．
干満環境および土中環境におけるひび割れ．．．．	2012	9	土木学会：【2007年制定．．．	08A0907233 10A0．．．	3	松井淳．ひび割れを工ポキシ．．．	12A0824020．．．
液状化地盤上の地震時道路変状防止．．．．	2011	6	原子力土木委員会：新潟県．．．	98A0327863 02A．．．	3	建設の施工企画．2012，．．．	12A1194736 13A．．．

※変更後のダウンロードフォーマット詳細につきましては、後ほどご説明いたします。

<ご参考> 引用・被引用の収録件数

JSTPlusとJMEDPlusのうち、1995年以降に発行された約255万論文に引用情報（約3,600万件）が追加されます。

<引用・被引用関係のイメージ>



※引用情報が付与される文献は、以下の国内原著文献と技術系の総説・解説文献が対象となります。

- ・学術誌・学会誌
- ・技報
- ・研究報告・技術報告（「学会発行誌」、「企業発行誌」、「政府機関発行誌（ただし地方府県の農林水産試験場を除く）」、「公共機関発行誌（技術系のみ・病院看護経済系除く）」）
- ・実用誌・解説誌（「企業発行誌」、「技術系学会発行誌」、「技術系分野かつ商業出版社発行誌」）

引用情報を含む回答表示画面イメージ

ANSWER 1 OF 1 JSTPlus JST COPYRIGHT		JDreamIII複写可能
整理番号	12A0526664	
和文標題	干満環境および土中環境におけるひび割れを有するコンクリート中の鉄筋腐食進行評価	
著者名	松村卓郎, 松尾豊史, 宮川義範, 大塚拓 (電力中研)	
資料名	電力中央研究所地球工学研究所研究報告	
JST資料番号	F0804D	
巻号ページ (発行年月日)	No.N11013 Page.29P (2012.02) 写図表参 写図56, 表4, 参12	
資料種別	技術報告(T)	
記事区分	原著論文(a1)	
発行国	日本(JPN) 言語	日本語(JA)
抄録	大きな地震作用を受け、鉄筋コンクリート製(以下、RC)地中構造物に、ひび割れ等の損傷を生じた、火力発電所や原子力発電所において、損傷後の経年劣化の進行を評価することは、重要である。電力中央研究所では、RC地中構造物の健全性評価の研究を行っているが、本研究の目的は、干満環境並びに土中環境における、地震によるひび割れを有する、コンクリート中の鉄筋腐食の進行を、評価することだった。実構造物を模擬した試験体に、鉄筋降伏を伴うひび割れを生じさせ、干満模擬環境、および土中模擬環境における鉄筋腐食実験を、約1年半行った。本文は、その実験結果から、1)コンクリート中の塩化物イオン濃度と鉄筋腐食の関係、および2)鉄筋の腐食進行評価について記した。今後は、損傷部の補修効果とその持続性を検討し、RC地中構造物の経年的な性能変化と、性能向上技術の構築を行う予定である。	
分類コード	RA05020W, WB03030B (624.01+, 669:620.193/.196)	
シソーラス用語	発電所 , 鉄筋コンクリート構造 , 地中構造物 , 腐食 , 老朽化 , 予測 , 評価 , 環境 , 潮汐 , 地中 , 亀裂 , 濃度 , 地震荷重 , 原子力発電所 , 金属腐食	
準シソーラス用語	塩化物イオン濃度 , 火力発電所 , 干満環境 , 健全性評価 , 鉄筋降伏 , 鉄筋腐食 , 土中環境 , 劣化予測	
著者ID	松村卓郎 (200901100318714820), 松尾豊史 (200901100333863378), 宮川義範 (200901100451842822), 大塚拓 (200901100345401116)	
引用	9件	1)土木学会:【2007年制定】コンクリート標準示方書[設計編],2008. 2)松村卓郎,宮川義範,玉田潤一郎,岩森暁如:干満環境下における鉄筋コンクリートの鉄筋腐食実験,土木学会第63回年次学術講演会講演概要集V部門,pp.447-448,2008. 3)松村卓郎,松尾豊史,宮川義範,玉田潤一郎:干満環境下におけるコンクリート中の鉄筋腐食性状に関する検討,コンクリート工学年次論文集,Vol.31,No.1,pp.1069-1074,2009.
		▼ もっと見る
被引用	3件	松井淳. ひび割れをエポキシ樹脂で補修したコンクリート中の鉄筋腐食の経年劣化. 2012, No.N11045, Page.24P 松村卓郎. 鉄筋コンクリート製地中構造物の健全性評価に関するガイドラインの改訂を踏まえて. ATOMOZ. 2015, Vol.55, No.6, Page.450-455 松尾豊史, 松村卓郎, 大塚拓. ひび割れ損傷を有する鉄筋コンクリートはり部材の塩害劣化と耐荷特性評価に関する検討. 電力中央研究所地球工学研究所研究報告. 2015, No.N15003, Page.27P

記載の文献タイトルリンクより、対象文献の回答表示を直接行えます。
(リンク先の回答表示には、引用・被引用情報は表示されません)

引用情報の活用について（注目文献の調査）

特定分野の集合結果について、被引用数（他の文献に引用されている数）が多い文献は、注目されている文献であることがわかります。

例）地震予知に関する国内文献（約1,000件）を被引用数にてソート

和文標題	資料名	発行年	被引用数
港湾の施設の技術上の基準・同解説〔2007〕における「M6.5」直下地震の特性について	沿岸技術研究センター論文集	2007	110
2000年鳥取県西部地震震源域の活断層調査	地震	2002	19
「全国地震動予測地図」作成手法の検討	防災科学技術研究所研究資料	2009	13
地震動予測地図の工学利用—地震ハザードの共通情報基盤を目指して—	防災科学技術研究所研究資料	2004	10
阿寺断層系の活動と1586年天正地震：小郷地区、青野原地区、伝田原地区トレンチ掘削調査	地震	1995	10
海溝型巨大地震における強震動パルスの生成とその生成域のスケーリング	日本地震工学会論文集(Web)	2012	8
火山から離れた地域で発生している深部低周波微動・地震—その分布と発生原因—	地震	2004	8
江東深層地殻活動観測井の地質と首都圏地域の地質構造	防災科学技術研究所研究報告	1996	8
「形態単位モデル」による一括活動型活断層の設定と起震断層の再検討	活断層研究	2004	7
放射性廃棄物地層処分 地質環境予測期間と不確実性の取り扱い	資源と素材	2001	6
微動探査の現状と課題	物理探査	2008	5
活断層とは何か 活断層調査において変動地形学的手法がなぜ重要か	科学	2009	5
ELF帯電磁観測における雑音除去と異常検出手法について	電気学会電磁環境研究会資料	2005	5
下総深層地殻活動観測井の作井と地質	国立防災科学技術センター研究速報	1983	5
来たる東海・東南海・南海地震の時間差発生における問題の構造	地域安全学会論文集	2007	4

注目度

引用情報の活用について（新領域の探索）

特定分野の文献集合結果について、その文献を引用している文献（被引用文献）を分析することで、その分野の技術が応用されている意外な分野を発見できます。

例）人工知能の文献を引用している文献（被引用文献）のJST分類

No	コード	カウント数	JST分類コード	JST分類
#1	CC	66	JE	計算機利用技術
#2	CC	19	IC	制御工学
#3	CC	16	KA	経営工学
#4	CC	14	JD	計算機ソフトウェア
#5	CC	14	NB	電力工学
#6	CC	13	JC	計算機方式・ハードウェア
#7	CC	10	AE	心理学
#8	CC	9	ND	通信工学
#9	CC	6	IA	システム・制御工学
#10	CC	6	RB	建築工学

参考）上記出力の手順

1. 人工知能に関する国内論文約850件の集合を作成
2. その文献とその文献を引用している文献（被引用文献）の集合を作成
3. 2の集合より、1の集合をNOT検索にて除外し、被引用文献だけの集合を作成
4. 3の集合をJST分類コードにより頻度分析

引用情報追加による変更・ご注意点①

1. 回答表示出力形式の追加

引用／被引用情報を含め全てを表示する形式として新たに
全項目（ALLC）を新設します。従来の全項目（ALL）は、
引用・被引用を除く全項目（ALL）となりますのでご注意ください。

※引用情報追加後は、**全項目（ALLC）**が**回答表示の初期設定**となるため、
引用・被引用を除く全項目（ALL）を初期設定とされる場合は、
管理者機能よりご変更をお願いします。

ハイライト表示	☐ する ☒ しない
回答表示多量出力通知	しない ▼
回答表示出力形式初期設定	ALL ▼

・初期表示設定のデフォルト値が『ALLC』に変更
・選択に「ALLC」が追加
現状：

ALL
TI
BIB
IDN

 → 変更後：

ALLC
ALL
TI
BIB
IDN

2. 引用・被引用文献の集合追加方法

引用・被引用の集合追加は検索式に対してではなく、L番号に対してのみ行えます。アドバンスドサーチでL番号作成後、そのL番号の集合文献を引用（被引用）している文献を追加いただけます。

3. ユーザSDI、スタンダード(リクエスト)SDI／文献速報について

引用情報の追加対象外のため、サービス内容および収録対象文献に変更はございません。

4. レンジ検索（/RG）およびユーザSDIにおける更新

引用・被引用情報のみのデータ更新は、レンジ検索（/RG）やユーザSDIにおける更新の対象外となります。

5. ダウンロード形式（タブ区切り）の変更

引用情報の追加にともない、ダウンロード形式（タブ区切り）のフォーマットに変更がございます。※フォーマットの詳細は後述いたします。

引用情報の料金

アドバンスドサーチの回答表示料金単価に、新たに引用・被引用項目を追加します。

■アドバンスドサーチの回答表示料金単価（円）

NEW

ファイル名	回答表示料金（1件あたり）							
	標題 (TI,TIEN, TIO)	書誌* (BIB)	抄録 (ABS)	索引語 (IND)	引用・ 被引用を 除く全項目 (ALL)	引用 (CD)	被引用 (CG)	全項目 (ALLC)
JSTPlus	30円	150円	40円	10円	200円	20円	100円	320円
JMEDPlus		110円	30円	10円	150円			270円

* 書誌には標題も含まれますので、ご利用明細上では、標題料金（上記単価）と書誌料金（上記単価より標題分を差し引いた単価）に分割されて表示されます。

※クイックサーチでの引用情報表示は後日リリースとなります。詳細はHP等でご案内いたします。

引用情報 無料お試しキャンペーン実施

引用情報の追加に合わせて、8月末日まで引用情報・被引用情報の無料お試しキャンペーンを実施いたします。

8月中は、引用（CD）、被引用（CG）の料金は発生いたしません。
この機会にぜひ引用情報をお試ください。

※引用情報以外の項目（標題、書誌、抄録等）は通常通りの料金が発生いたします。

※対象はJDreamⅢ検索サービス全てのご契約プランとなります。

※固定契約のキャンペーン期間中の引用情報のご利用は、ご利用限度額の算定には含めません。

2. 海外誌(IEEE)の拡充

海外誌(IEEE)の大幅拡充について



米国電気電子学会（IEEE）のジャーナル・会議録の大幅拡充を行います。
従来は年間約2万件だったものが、新たに年間で約22万件に追加となります。
追加される約20万件分は、2016年1月発行データより順次搭載いたします。

<ジャーナルの一例>

- [Biomedical and Health Informatics](#), IEEE Journal of
- [Human-Machine Systems](#), IEEE Transactions on
- [NanoBioscience](#), IEEE Transactions on
- [Vehicular Technology Magazine](#), IEEE
- [Neural Networks and Learning Systems](#), IEEE Transactions on
など

<会議録の一例>

- [Brain-Computer Interface \(BCI\)](#), 2014 International Winter Workshop on
- [Biosignals and Biorobotics Conference \(2014\)](#): Biosignals and Robotics for Better and Safer Living (BRC), 5th ISSNIP-IEEE
- [Machine Learning and Applications \(ICMLA\)](#), 2014 13th International Conference on
- [Machine Learning and Cybernetics \(ICMLC\)](#), 2014 International Conference on

機械翻訳と自動索引について

今回より拡充される海外誌(IEEE)について、索引は自動付与となり、和文標題／和文抄録については、英文標題／英文抄録を機械翻訳したものとなります。また、回答表示に新たに英文抄録が加わります。

ANSWER 1 OF 1 JSTplus JST COPYRIGHT JDreamIII 複写不可

整理番号 15A1282328

和文標題 電気凝集による3種の酸性アゾ染料除去における人工知能を用いた田口/設計最適化の改善【Powered by NICT】

英文標題 Improvement of the /Taguchi/ design optimization using artificial intelligence in three acid azo dyes removal by electrocoagulation

著者名 Taheri Mahsa, Moghaddam Mohammad Reza Alavi (Civil and Environmental Engineering Dep., Amirkabir Univ. of Technol. (AUT), Tehran, 15875-4413, Iran), Arami Mokhtar (Textile Engineering Dep., Amirkabir Univ. of Technol. (AUT), Tehran, 15875-4413, Iran)

資料名 欧文誌1機械翻訳&自動索引

JST資料番号 E0814B

巻号・ページ (発行年月日) Vol.34 No.6 Page.1568-1575 (2015) 写図表参 写図8, 表3

資料種別 逐次刊行物(A)

記事区分 原著論文(a1)

発行国 アメリカ合衆国(USA) 言語 英語(EN)

抄録 本研究の目的は、アシッドオレンジ7、アシッドブラウン14及びアシッドレッド18アゾ染料除去電気凝集による人工ニューラルネットワーク(ANN)と遺伝的アルゴリズム(GA)を用いた田口メソッドによる最適化の改善を含む。さらに、分散分析によれば、染料のタイプと反応時間は田口設計における染料除去メータであった。染料除去効率応答の予測とモデリングはANNにより達成した。ANNが妥当であることを示した。添加では、ANNを田口メソッドに従って選択した染料除去条件を用いた。96.79%、98.12%、および76.47%の染料除去効率は、アシッドオレンジ7、アシッドブラウン14及びアシッドレッド18に対して報告されている、それぞれ、最良の除去条件でANNモデルであった。【Powered by NICT】

英文抄録 The aim of this research is improvement of the Taguchi design optimization using artificial neural network (ANN) and genetic algorithm (GA) in Acid Orange 7, Acid Brown 14, and Acid Red 18 azo dyes removal by electrocoagulation. For this purpose, 27 tests were undertaken for investigation of five parameters including current density, reaction time, initial dye concentration, dye type, and initial pH by using Taguchi's orthogonal array. Additionally, according to analysis of variance, dye type and reaction time were the most important parameters for responses of dye removal efficiency and operating costs in Taguchi design, respectively. Prediction and modeling of the dye removal efficiency response were also accomplished by ANN. High R2 values (97%) indicated that the accuracy of the Taguchi and ANN models are acceptable. In addition, ANN was used in GA for finding the best elimination conditions for the selected dyes according to the Taguchi design. Dye removal efficiencies of 96.79%, 98.12%, and 76.47% were reported for Acid Orange 7, Acid Brown 14, and Acid Red 18, respectively, in the ANN model at the best elimination conditions. 2015 American Institute of Chemical Engineers Environ Prog, 34: 1568-1575, 2015

分類コード SB05040W (614.7:54+)

シソーラス用語 *アゾ染料, *凝集, *電気化学的水処理, *田口メソッド, ニューラルネットワーク, 遺伝的アルゴリズム, *除去, 電流密度, 反応時間, pH【水素イオン指数】, スルホン酸, アゾ化合物, フェノール類, 芳香族縮合化合物

準シソーラス用語 アシッドブラウン14, *汚染物除去, 初期濃度, ニューラルネットワーク<=, *水質汚染, *電気凝集, 【AI@JST】 #著者キーワード, #著者キーワード, #著者キーワード

物質索引 アシッドオレンジ7 (J6.904C, 633-96-5), アシッドレッド18 (J3.711G, 2611-82-7)

英文抄録の表示追加

検索条件簡易入力

検索条件簡易入力項目

検索条件セット クリア

検索範囲 ☐ 未索引を除く ☐ 抄録付き文献のみ
☐ 索引付き最新登録のみ

対象文献 ☒ 全て ☐ 機械翻訳文献のみ ☐ 機械翻訳文献を除く

発行年 From: --- To: ---
☐ 最新3年 ☐ 最新5年 ☐ 最新10年

言語 ☐ 日本語 ☐ 英語 ☐ ドイツ語 ☐ フランス語
☐ ロシア語 ☐ オランダ語 ☐ スペイン語 ☐ 中国語
☐ 韓国語

記事区分 ☐ 原著論文(a1) ☐ 短報(a2) ☐ 文献レビュー(b1)
☐ 短説(b2) ☐ 会議録記事(d2) ☐ 紹介的記事(d3)
☐ 会議録(c)を除く ☐ 会議録記事(d2)を除く

発行国 ☐ 日本 ☐ アメリカ ☐ イギリス ☐ ドイツ
☐ フランス ☐ ロシア ☐ オランダ ☐ 中国
☐ 韓国 ☐ スイス ☐ イタリア

巻号・ページ 巻: 号: 特号: 開始ページ:

検索条件セット クリア

閉じる

<検索条件の簡易入力画面>

対象文献 ☒ 全て ☐ 機械翻訳文献のみ ☐ 機械翻訳文献を除く

著者キーワードを表示
他と区別するため、単語の
先頭に"# "を付与

機械翻訳文献を検索対象
から外すことが可能

<回答表示画面>

1. 機械翻訳／自動索引となる対象文献

今回より拡充される海外誌（IEEEの年間約20万件）が対象となります。
従来から採録されております海外誌は、従来通り、人手での索引付与／翻訳／作成となります。

ただ、従来からの海外誌においても、書誌情報のみのデータ搭載時には、速報性を重視し、機械翻訳のデータを使用し、人手での翻訳および索引付与が完了した段階で上書きを行います。

2. 機械翻訳文献を検索の対象外とする方法

アドバンスドサーチの「簡易入力画面」より、ラジオボタンにて機械翻訳文献を検索対象外に設定いただけます。なお、機械翻訳を行った抄録については、末尾に以下のいずれかの表記が付与されております。

【Powered by NICT】

【JST・京大機械翻訳】

7/19以前に直接検索式を編集される際は、元のL番号（集合）に以下の式を追加ください。

L番号 not ("【Powered by NICT】"+"【JST・京大機械翻訳】")

※L番号の箇所には、元のL番号をご指定ください

3. 英文抄録の追加

今回より拡充される海外誌（IEEEの年間約20万件）および、今後追加される海外誌の一部には、回答出力に英文抄録が新たに追加されます。

※著作権の都合で、英文抄録については、複製再配布・ネットワーク利用は申請いただけません。

4. 英文抄録の検索

英文抄録を含めて検索する場合、フィールドコード（/QS）または（/ALE）をご指定下さい。（/AB）は、英文抄録は検索対象外となります。検索で英文抄録部分に検索語が含まれていた場合も、該当部分はハイライト表示されます。

5. ダウンロード形式のフォーマット変更

英文抄録が追加となるため、ダウンロード形式（タブ区切り）のフォーマットに変更がございます。※フォーマットの詳細は後述いたします。

6. 著者キーワードの追加

拡充される海外文献には、著者キーワード（英文および機械翻訳の日本語）が追加されます。著者キーワードは準シソーラスに追加され、通常の準シソーラスと区別するため、単語の先頭に#が付与されます。

7. ユーザSDIについて

2016年7月29日以降の配信分より、今回拡充する海外誌（IEEE）が対象検索となります。今回拡充される機械翻訳の海外誌を検索の対象より除外されたい場合は、それまでに、「2. 機械翻訳文献を検索の対象外とする方法」をご参照の上、SDI検索式のご変更をお願いいたします。

3. その他の変更点

機関IDの追加

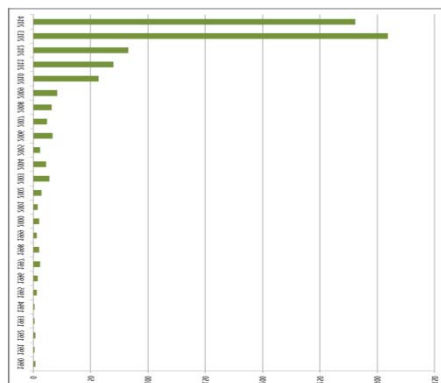
機関名を一意に識別可能な番号です。ダウンロードファイル（タブ区切り形式）に機関IDが付与されます。

和文標題	発行年	所属機関名(機関ID)	著者ID)	
赤方偏移率-後退速度関係の・・・	2004	東大(2015510000980950000) ●●大学	1109013545508),x>・・・	
宇宙空間光静止系に対する天体の速度計算	2003	東京大学(2015510000980950000) ▲	鈴木一郎 (201201109013545508),△・・・	
Escape Trajectory and Connection to Ir	2003	Tokyo Univ.(201551000098095000)	Jiro Yamada (211201109019945508)・・・	
.....				

機関ID

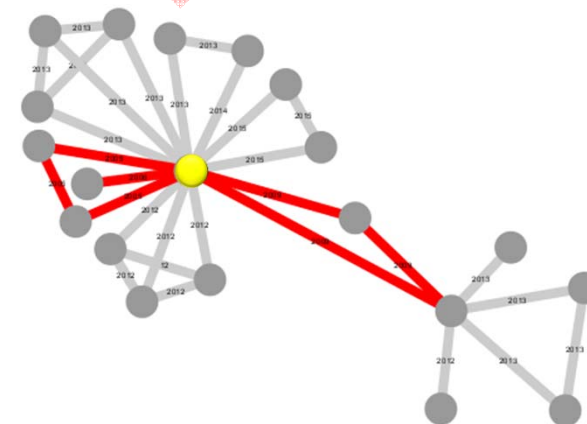
<各種集計>

企業別、大学別の論文数の集計など



<ネットワーク分析>

共同研究の分析など



書誌項目の表記変更について

外国誌書名を省略表記から完全表記に変更

- ・ **表示**：省略表記から完全表記に変更になります

現状	著者名		変更後	著者名	
	資料名	<u>Can J Zool</u>		資料名	<u>Canadian Journal of Zoology</u>
	JST資料番号	ISSN		JST資料番号	ISSN
	巻号ページ (発行年月日)			巻号ページ (発行年月日)	

- ・ **検索**：省略表記から完全表記による検索になります

※以下サイトにて、略称表記と完全表記がご検索いただけます。

<http://jdream3.com/guide/inclusion.html>

検索結果表示時のL番号表記について

検索結果を表示する際のL番号について、従来のテキストリンク表記から、アイコンリンクに変更いたします。

(検索結果出力時の操作は、アイコンをクリック)

☐ 全てのL番号を選択/解除
☒ 履歴表示
☒ 検索式アップロード

L番号 ?	検索履歴 ?	ヒット件数 ?
検索対象ファイル: JSTPlus		
☐ L1	アミノ酸*高齢者	1,196
☐ L2	アミノ酸	690,809



L番号 ?	検索履歴 ?	ヒット件数 ?
	検索対象ファイル: JSTPlus	
☐ L1表示	アミノ酸*高齢者	1,196
☐ L2	アミノ酸	690,809

4. ダウンロード形式（タブ区切り） のフォーマット変更について

ダウンロード項目の追加

引用情報の追加、海外誌拡充および機関IDの追加にともない、ダウンロード形式（タブ区切）の項目が追加されるため、ファイルフォーマットが変更となります。

<新たに追加される項目>

分類	ダウンロード項目	内容	レコードサンプル
引用情報追加	引用数	その文献が引用している文献数	3
	引用テキスト（整理番号）	その文献が引用している文献の書誌情報（整理番号）	内田立身. 日本人の女性の貧血 最近の動向とその成因. 臨床血液. 2004, 45, 1085-1089(04A0806153) World Health Organization. The prevalence of anemia in women : at tabulation of available information. 1992 LOOKER, A. C. Prevalence of iron deficiency in the United States. JAMA. 1997, 227, 973-976(97A0428286)
	引用整理番号	その文献が引用している文献の整理番号	04A0806153 97A0428286
	被引用数	その文献が引用されている文献数	1
	被引用テキスト(整理番号)	その文献が引用されている文献の書誌情報（整理番号）	小松崎典子. 母親が摂取したコーン油とシソ油が仔ラットの胃内容物組成と血漿脂質濃度に及ぼす影響. 日本食生活学会誌. 2011, 22, 234-240(13A0643937)
	被引用整理番号	その文献が引用されている文献の整理番号	13A0643937
海外誌拡充	英文抄録	英文抄録	The aim of this research is . . .
機関ID追加	所属機関名（機関ID）	著者の所属機関名（機関ID）	〇〇大学(YYYY9999999999999999) △△研究所(YYYY9999999999999999)
	機関IDのみ	著者の所属機関のID	YYYY9999999999999999 YYYY9999999999999999

※変更対象はJSTPlus/JMEDPlus/JST7580のみで、MEDLINE/JAPICDOC/JSTChina/JCHEMに変更はございません。

※引用、被引用は下記条件時のみダウンロードされます。

検索方式：アドバンスドモード ファイル：JSTPlus または JMEDPlus

出力形式：全項目（ALLC）、または、形式指定でALLC、CD、CGが指定されていた場合

ダウンロード形式：タブ区切り形式（検索式なし）のみ

変更後のダウンロードフォーマット

検索操作後に、サービス画面から「タブ区切り形式」でダウンロードした場合のフォーマット

■ JSTPlus/JMEDPlus/JST7580のダウンロード形式（タブ区切り）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
整理番号	和文標題	英文標題	原文標題	著者名	資料名	JST資料番号	ISSN	CODEN	ISBN	レポート番号	巻	号	ページ	特殊号

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
発行年	写図表参	会議	資料種別	記事区分	発行国	言語	抄録	英文抄録	分類コード	シソーラス用語	準シソーラス用語	物質索引

29	30	31	32	33	34	35	36
著者名のみ	所属機関名のみ	著者名(所属機関)個別	所属機関名(機関ID)	機関ID	著者名(著者ID)	著者ID	DOI情報

37	38	39	40	41	42	43	44
引用数	引用テキスト (引用整理番号)	引用整理番号	被引用数	被引用テキスト (被引用整理番号)	被引用整理番号	ダウンロード日	COPYRIGHT

※色付き（緑色）の箇所が追加となる項目です。

変更後のダウンロードフォーマット

ユーザSDIで「タブ区切り形式」を選択した場合に、メールで配信される添付ファイルのフォーマット

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
整理番号	和文標題	英文標題	原文標題	著者名	資料名	JST資料番号	ISSN	CODEN	ISBN	レポート番号	巻	号	ページ	特殊号

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
発行年	写図表参	会議	資料種別	記事区分	発行国	言語	抄録	英文抄録	分類コード	シソーラス用語	準シソーラス用語	物質索引

29	30	31	32	33	34
著者名(著者ID)	著者ID	DOI情報	回答出力日	更新日	COPYRIGHT

※JSTPlus/JMEDPlusが対象となります（JST7580はユーザSDIの対象外です）。
 ※色付き（緑色）の箇所が追加となる項目です。